

【草花の部屋】

ヤブカンゾウ（ユリ科ワスレグサ属 Hemerocallis fulva var. kwansoFuchsia）

和名：ヤブカンゾウ（薔萱草） **別名**：ワスレグサ、カンゾウナ

英名：Orange Daylily、 Tawny Daylily、 Tiger Daylily、 Ditch Daylily

ユリ目 多年草 **原産地**： 中国

花言葉：愛の忘却 **花の色**： 橙

→ **写真-1** ヤブカンゾウ

撮影日：2013 年 7 月 17 日

撮影場所：インスブルック（オーストリア）にて

撮影者：M さん



← **写真-2** ヤブカンゾウの花

撮影日：2013 年 7 月 17 日

撮影場所：インスブルック

（オーストリア）にて

撮影者：M さん

→ **写真-3** ヤブカンゾウの葉

撮影日：2013 年 7 月 17 日

撮影場所：インスブルック

（オーストリア）にて

撮影者：M さん



市内の公園散策中に見かけました。結構、目立っていました。日本では有史以

前に中国から帰化したと言われ、本州以南の野原や藪などに群生。葉は長さ 40～60cm の広線形。葉の間から 80～100cm の花茎をだし、上部に黄赤色の花を数個つける。花は雄蕊の全部または一部が花びらのようになって八重咲きになるのが特徴。花期は 7～8 月。茎頂にユリに似た八重咲きで橙赤色の花を開く。「人里植物」としても分類されているそうです。よく似た花にノカンゾウがあります。

三倍体のため結実せず、匍匐茎（ほふくけい、ランナー）を出して拡がり、群落を形成。根は黄色、末端は塊状。人家近くの草地などに生育が見られ、種子で増えることはないので、過去に栽培されたものが生き残ったり、河川の氾濫にともなって流されたりしたものと考えられているそうです。そのため、現在の生育地は堤防や小川のほとり、耕作地の周辺などがほとんどだそうです。

若葉と花は食用になり、乾燥させて保存食としたそうです。また、利尿剤として民間薬として利用されるそうです。よく似た種のノカンゾウは、花は一重で、結実。

<ちょっと一言>

＊三倍体：

基本数の 3 倍の染色体をもつ倍数体。四倍体と二倍体との交雑によって生じ、有性生殖では系統を維持できない。種なし西瓜その他の園芸植物・栽培植物でつくられる。（広辞苑）

＊人里植物：

平地や丘陵地の斜面、田畑の土手、道端、川縁、林縁など、村落や都市など人間の生活圏に限って出現する植物。オオイヌノフグリ、ホトケノザ、セイヨウタンポポ、セイタカアワダチソウなど・・・。